学校番号	３０９

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史演習	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	「詳説　世界史　改訂版」　（山川出版社）						
副教材等	「グローバルワイド　最新世界史図表」　（第一学習者） 「世界史　重要語句 Check List」（啓隆社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

1，2年次に必修科目として2単位ずつ、3年生では選択すれば3単位、最大で合計7単位で教科書一冊の内容をじっくりと学習し、大学受験にも対応できる程度の内容に取り組む。中学校時代と比べ、より詳細に、また様々な地域の事象を扱うため、縦（時代）と横（地域等）のつながりを把握しながら、内容を整理して理解し、反復して知識の定着を図ることが必要になる。

2　学習の到達目標

世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、文化の多様性・複合性と現代社会の世界の特質を広い視野から考察することによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追及するとともに、国際社会に主体的に生き、国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。	世界の歴史から課題を見いだし、文化の多様性・複合性や現代世界の特質を多面的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	世界の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	世界の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その地域を身につけている。
評価方法	・授業中の学習態度や姿勢 ・考査や小テスト・ノートやプリント、問題集の記入状況	・授業中の学習態度や姿勢、発言や質問への回答 ・ノートやプリント、問題集の記入状況 ・考査や小テスト	・考査や小テスト ・授業中での取り組みや資料等の読み取り状況	・考査や小テスト ・問題集の学習状況 ・ノートやプリントの記入状況 ・授業中の発言や質問への回答

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	産業革命	イギリス産業革命の背景と展開、産業資本主義体制の確立とその影響について理解する。	◎	○		◎	a: .産業革命の世界史的背景、技術革新や交通革命の進展と波及について、関心を持って学習しようとしている。 b: .資本主義体制の確立と社会の変容について、社会問題・労働問題と関連づけて考察し、文章にまとめる。 c: 教科書に掲載されている産業革命期のち図や図版、と市の人口増を示す表などの諸資料を適切に活用している。 d: 産業革命が最初にイギリスに起こった理由、繊維部門の技術革新と交通機関の改良、資本主義体制が世界市場に与えた影響などに関する基本的な知識を身につけている。	発問評価 授業態度 定期考査
	アメリカ独立革命	アメリカ独立革命の経過と、独立が近代民主政治に与えた影響を理解する。	◎		○	◎	a: 共和政の大国を確立したアメリカの独立と、その憲法の内容や思想的背景を、関心を持って学習しようとしている。 c: 「独立宣言」の抜粋などの資料から、近代民主政治の基本原理を読みとることができている。 d: イギリスの北アメリカ植民地の状況、独立戦争の経過と合衆国憲法の特徴に関する基本的な知識を身につけている。	発問評価 授業態度 小テスト 定期考査

	フランス革命とナポレオン	アメリカ独立革命とフランス革命が近代民主政治に与えた影響を理解する。	◎		○	◎	a: フランス革命の背景について、関心を持って学習しようとしている。ナポレオンの政策と革命の継承点について、関心を持って学習しようとしている。フランス革命の背景について、関心を持って学習しようとしている。ナポレオンの政策と革命の継承点について、関心を持って学習しようとしている。フランス革命の背景について、関心を持って学習しようとしている。ナポレオンの政策と革命の継承点について、関心を持って学習しようとしている。 c: 「人権宣言」や革命期のおもな党派などの資料、ナポレオンの活動を表現した絵画や図版などを適切に活用している。 d: フランス革命が起こった社会構造、恐怖政治に至る革命の進展過程に関する基本的な知識をみにつけている。皇帝ナポレオンの誕生の背景やそのｔ愛陸支配の経過に関する基本的な知識を身につけている。	発問評価 授業態度 小テスト 定期考査
	ウィーン体制の成立	ウィーン体制の成立と、その体制下に広がったヨーロッパ諸国の自由主義とナショナリズムの運動を理解する。	◎		○	◎	a: ウィーン体制の特色とその崩壊過程、社会主義思想の成立と普及について、関心を持って学習しようとしている。 c: 教科書に掲載されているウィーン会議後のヨーロッパ諸国の地図や絵画・図版などを適切に活用している。 d: フランス革命運動を中心に、ウィーン体制を崩壊させたヨーロッパ諸国の自由主義や民主主義的な政治改革の動向に関する基本的な知識を身につけている。	発問評価 主体性 小テスト 定期考査

	ヨーロッパ世界の再編と新統一国家の誕生	クリミア戦争以後の国際秩序の動揺と再編、イタリア・ドイツにおける国民国家の形成過程、ロシア・オーストリアの皇帝主導の近代化を理解する。	◎	○	○	◎	a: ロシアの南下政策とそれに伴うヨーロッパ列強の対立、イタリア・ドイツの統一の背景や過程について、関心を持って学習しようとしている。 b: クリミア戦争後の国際対立とビスマルク外交に関して、のちの第一次世界大戦に関連付けて考察し、文章にまとめる。 c: 教科書に掲載されているイタリアとドイツの統一、ベルリン会議後のバルカン半島といった地図や、写真・図版などを適切に活用している。 d: クリミア戦争とロシアの皇帝主導の近代的改革、ヴィクトリア時代のイギリスの繁栄、フランス第二帝政とその崩壊、イタリア・ドイツの統一とビスマルクによる協調外交といった、ヨーロッパ諸国の国民国家形成期の基本的な知識を身につけている。	発問評価 授業態度 小テスト 定期考査

	南北アメリカの発展	ラテンアメリカの独立、アメリカ合衆国の領土拡張と南北戦争以後の発展を理解する。	◎	○	○	○	a: ラテンアメリカ独立後における社会・経済の状況を理解しようとしている。アメリカ合衆国の西部への領土拡大が、独自のものの考え方や行動様式をはぐくんでいったことを学習しようとしている。 b: アメリカ先住民や奴隷解放後の黒人への抑圧を、現在の人種・民族問題と関連付けて考察し、考えをまとめる。 c: 教科書に掲載されているラテンアメリカの独立、アメリカ合衆国の領域拡大を示す地図や写真・図版などを適切に活用している。 d: ラテンアメリカの独立の経過、アメリカ合衆国の西部への領土拡張や、南北戦争以後、世界一の工業国として発展したことに関する基本的な知識を身につけている。	発問評価 授業態度 定期考査
	19 世紀欧米の文化	19 世紀の欧米文化の特徴とその成立の背景を理解する。	◎		○	◎	a: 19 世紀欧米の文芸思潮の変化、近代諸科学や技術の発展の影響を意欲的に追究しようとしている。 c: 19 世紀欧米文化の美術作品の図版や文学作品などの一覧表から、その文化の特色に触れることができている。 d: 19 世紀のロマン主義や自然主義などの思潮に属する文芸作品、哲学と人文・社会科学、科学・技術の発展、および地理上探検に貢献した人物たちに関する基本的な知識を身につけている。	発問評価 授業態度

	オスマン帝国支配の動揺と西アジア地域の変容	西アジアにおけるオスマン帝国支配の動揺と改革、アラブ諸民族の覚醒、イラン・アフガニスタンの動向を理解する。	◎		○	◎	a: 世界市場の形成を背景にしたヨーロッパ勢力の干渉によるオスマン帝国と西アジア地域の変容について、関心を持って学習しようとしている。 c: 教科書に掲載されている19 世紀の西アジアとバルカン半島の地図や図版を適切に活用している。 d: オスマン帝国の動揺とタンジマート改革の挫折、アラブの民族運動、イラン・アフガニスタンの対応に関する基本的な知識を身につけている。	発問評価 授業態度 小テスト 定期考査
	南アジア・東南アジアの植民地化	インドの植民地化とその社会の変貌、東南アジア諸国の植民地化の過程を理解する。	◎		○	◎	a: ムガル帝国の解体と東南アジアの植民地化について、関心を持って学習しようとしている。 c: 教科書に掲載されているインド・東南アジアの植民地化を示す地図、図版や写真などの資料を適切に活用している。 d: イギリスによるインドの植民地化とインド社会の停滞から発生した大反乱、ヨーロッパ諸国の東南アジアの分割と植民地化に関する基本的な知識を身につけている。	発問評価 授業態度 小テスト 定期考査

	東アジアの激動	ヨーロッパ諸国の干渉による清朝の動揺と近代化改革、日本の開国と台頭による東アジア国際秩序の再編を理解する。	◎	○	○	◎	a: アヘン・アロー両戦争、太平天国の動乱で清朝の支配が大きく動揺し、近代化への取り組みが始まったことを、関心を持って学習しようとしている。 b: 民衆の結社運動と太平天国の動乱を、アヘン戦争後の社会不安と関連付けて考察し、文章にまとめる。 c: 教科書に掲載されているロシアの東方進出や東アジアへの動向をあらわす地図、図版や写真、諸資料を適切に活用している。 d: アヘン・アロー両戦争やロシアの進出により清朝が動揺し、洋務運動に代表される近代化への取り組みが始まったことに関して、基本的な知識を身につけている。日本と清朝の朝鮮をめぐる対立が激化し、日清戦争がおこる過程に関する基本的な知識を身につけている。	発問評価 授業態度 小テスト 定期考査
	帝国主義と列強の展開	帝国主義の特質と、帝国主義時代における欧米列強諸国の国家・社会の変化を理解する。	◎	○	○	◎	a: 欧米列強では軍事力の強化がはかられる一方で労働運動が高まりを見せるなど、国内の緊張が高まっていったことを、関心を持って学習しようとしている。 b: 19 世紀後半から欧米で進展した第 2 次産業革命と、各国の帝国主義の動きを関連付けて考察し、文章にまとめる。 c: 教科書に掲載されている移民や列強の海外植民地面積の比較図、カリブ海地域の地図や図版などの諸資料を適切に活用している。 d: 帝国主義の特質と、帝国主義時代における欧米列国の国内問題に関する基本的な知識を身につけている。	発問評価 授業態度 小テスト 定期考査

2学期	世界分割と列強対立	帝国主義時代の欧米列強による世界各地の分割や植民地化をめぐる競合と、従属させられた地域社会の抵抗と変容を理解する。	◎		○	◎	a: 欧米列強が植民地獲得や勢力圏拡大の競争を繰り広げた結果、列強の二極分化が進み、第一次世界大戦につながる危機が高まっていったことを、関心を持って学習しようとしている。 c: 教科書に掲載されているアフリカ・アジア・太平洋地域の関連地図、同盟・協商関係図や図版などの諸資料を適切に活用している。 d: .欧米列強のアジア・アフリカ・太平洋地域・ラテンアメリカにおける植民地獲得や勢力圏拡大の競争に関する基本的な知識を身につけている。列強の二極分化の過程とバルカン半島をめぐる危機の高まりに関する基本的な知識を身につけている。	発問評価 授業態度 小テスト 定期考査
	アジア諸国の改革と民族運動	欧米諸国の支配を受けたアジア諸国の改革と民族運動の形成を理解する。	◎		○	◎	a: 帝国主義列強の侵略にさらされたアジア諸国における民族運動の形成と、このような世界情勢の中で日本が列強としてアジアへの勢力拡張に加わったことを、関心を持って学習しようとしている。 c: 教科書に掲載されている、東アジアにおける列強の勢力圏を示す地図や図版を活用し、現在に残る影響を把握しようとしている。 d: 中国分割の危機と辛亥革命、インド、東南アジア、西アジアにおける民族運動の形成に関する基本的な知識を身につけている。日露戦争や韓国併合にみられる近代日本の台頭に関する基本的な知識を身につけている。	発問評価 授業態度 小テスト 定期考査

	第一次世界大戦とロシア革命	第一次世界大戦とロシア革命が国際秩序に大きな変化をもたらし、20 世紀の変動の基点となったことを理解する。	◎	○	○	◎	a: 第一次世界大戦勃発の経緯、戦時外交と総力戦の性格について、関心を持って学習しようとしている。ソ連邦成立に至るロシア革命の進展を、関心を持って学習しようとしている。 b: 第一次世界大戦の原因や性格について、これまでの戦争との違いを多角的に考察し、文章にまとめる。 c: 教科書に掲載されているバルカン諸国や第一次世界大戦の戦場となった地域や領土拡大をあらわす地図、新兵器などの図版を適切に活用している。 d: 第一次世界大戦の帝国主義諸国間の覇権争いとしての性格、経過と影響に関する基本的な知識を身につけている。ロシア革命の展開と、ソ連邦の成立過程に関する基本的な知識を身につけている。	発問評価 授業態度 小テスト 定期考査
	ヴェルサイユ体制下の欧米諸国	国際協調を基調としたヴェルサイユ体制下の欧米諸国の動向を理解する。	◎		○	◎	a: 戦間期の国際協調と平和への取り組みが実を結ばなかった理由について、関心を持って学習しようとしている。 c: 教科書に掲載されているドイツ国境を中心としたヨーロッパの地図、ドーズ案後の資本の国際的循環を示す諸資料、図版・写真などを適切に活用している。 d: ヴェルサイユ・ワシントン両体制の問題点と、アメリカの繁栄、ソ連邦の社会主義建設といった欧米諸国の動向に関して、基本的な知識を身につけている。	発問評価 授業態度 小テスト 定期考査

	アジア・アフリカの民族運動	中国や東南アジア諸国、インド、トルコや西アジア諸国、アフリカの民族運動の展開を理解する。	◎		○	◎	a: アジア諸民族の民族運動が大衆的な基盤を持ち、世界史の新しい潮流をつくり出したことについて、関心をもって学習しようとしている。 c: 教科書に掲載されている1920～30 年代の中国、第一次世界大戦後の西アジアの地図、図版・写真などを適切に活用している。 d: 中国における民族運動の高揚、ガンディーを中心としたインドの民族運動、ムスタファ=ケマルによるトルコ革命など、アジア諸地域で展開された大衆的な基盤を持つ民族運動に関する基本的な知識を身につけている。	発問評価 授業態度 小テスト 定期考査
	世界恐慌とファシズム諸国の侵略	世界恐慌以降の欧米諸国の動向や東アジアのじょうky塊から、国際的な緊張が高まる時代を理解する。	◎	○	○	◎	a: イタリア・ドイツ・日本のファシズムの特徴と勢力拡張の過程について、関心を持って学習しようとしている。 b: ファシズムという運動を20 世紀における大衆社会の出現と関連付けて考察することができる。 c: 教科書に掲載されている世界恐慌中の工業生産の推移を示す諸資料、日中戦争の地図、図版・写真などを適切に活用している。 d: 世界恐慌の影響と欧米諸国の対応、ファシズム諸国の攻勢やソ連邦の動向に関する基本的な知識を身につけている。	発問評価 授業態度 小テスト 定期考査

	第二次世界大戦	第二次世界大戦に至る過程と戦争規模の拡大、米ソの国際的地位の高まりを理解する。	◎	◎	○	◎	a: 第二次世界大戦の海戦に至る過程、戦争の拡大と戦場の広域化、核兵器などの大量破壊兵器の被害などを、関心を持って学習しようとしている。 b: 第二次世界大戦の持っていた複合的で複雑な性格を戦後の国際社会の方向性と関連付けてこうさつしている。 c: 教科書に掲載されているヨーロッパ戦線や太平洋戦争の地図、図版・写真などを適切に活用している。 d: 第二次世界大戦におけるヨーロッパから太平洋に至る戦場の広域化、強制収容所の建設や核兵器の使用といった残虐行為など、戦争の惨禍に関する基本的な知識を身につけている。	発問評価 授業態度 小テスト 定期考査
	戦後世界秩序の形成とアジア諸地域の独立	第二次世界大戦後、米･ソを中心とした冷戦体制が成立し、東西両陣営に世界が分裂したことを理解する。中華人民共和国の成立や朝鮮の分断、アジア諸地域の独立の過程を理解する。	◎		○	◎	a: 米・ソそれぞれの経済協力と軍事ブロックの形成による冷戦構造について、関心をもって学習しようとしている。アジア諸地域の独立と建国時の困難さに関して、関心を持って学習しようとしている。 c: 教科書に掲載されているドイツとベルリンの分割図、第二次世界大戦後のアジア諸地域の独立を示す地図や図版を適切に活用している。 d: 国際連合を柱とした戦後の世界秩序の形成、ヨーロッパの東西分断と冷戦体制の確立、アジア諸地域の独立に関する基本的な知識を身につけている。	発問評価 授業態度 小テスト 定期考査

	米ソ冷戦の激化と西欧・日本の経済復興	朝鮮戦争などによる米ソ冷戦の激化から、日本・西欧の経済復興や「雪解け」の始まりによって、国際政治や経済が多極化に向かったことを理解する。	◎		○	◎	a：. 朝鮮戦争後、核兵器開発競争や平和共存政策といった国際的な緊張・融和が繰り返されたことについて、関心を持って学習しようとしている。 c：教科書に掲載されている朝鮮戦争の戦場をあらわす地図、冷戦時代の諸同盟や先進国の経済成長率などの諸資料、図版・写真を適切に活用している。 d：朝鮮戦争後の「雪解け」と平和共存への試みに関する基本程な知識を身につけている。アメリカに続く西欧や日本の復興と経済成長に関する基本的な知識を身につけている。	発問評価 授業態度 小テスト 定期考査
	第三世界の台頭と米・ソの歩み寄り	戦後 20 年間に段階的に独立を達成したアジア・アフリカ諸国が第三勢力として躍進し、発言力を強めたことを理解する。米・ソの両大国の動揺と国際的な影響力の減退を理解する。	◎		○	◎	a：経済的自立の困難さや開発独裁体制の成立、中国の混乱など、第三世界諸国における危機について、関心を持って学習しようとしている。ベトナム戦争やチェコスロヴァキア軍事介入など、米・ソ両大国の動揺について、関心を持って学習しようとしている。 c：教科書に掲載されている中東戦争によるイスラエルの領土拡大をあらわす地図、諸地域の図版・写真を適切に活用している。 d：アジア=アフリカ会議や非同盟諸国会議などにみられる、第三世界の連帯の動きに関する基本的な知識を身につけている。キューバ危機やベトナム戦争、中ソ対立やソ連の東欧諸国に対する介入、西ドイツの東方外交による緊張緩和の進展などに関する基本的な知識を身につけている。	発問評価 授業態度 小テスト 定期考査

3学期	石油危機と世界経済の再編	ドル=ショック、オイル=ショック以降の国際経済の再編、冷戦の終結への流れを理解する。	◎		○	◎	a: オイル=ショック以降の先進国の社会変容や新自由主義的改革、途上国の工業化について、関心をもって学習しようとしている。 c: 教科書に掲載されているチェルノブイリ原子力発電所の事故の写真などを、環境破壊の考察に適切に活用している。 d: オイル=ショックなど戦後政治の転換期の動向や冷戦終結への取り組みに関する基本的な知識を身につけている。	発問評価 授業態度 小テスト 定期考査
	社会主義世界の変容とグローバリゼーションの進展	東欧社会主義圏の消滅、ソ連邦の解体と民族紛争、グローバル経済の進展を理解する。	◎	○		◎	a: 通商の自由化と市場経済の世界化がより進展し、地球規模での相互依存が高まったことを学習しようとしている。 b: 東欧社会主義圏の解体とソ連邦の分裂、消滅について、その歴史的意味を多角的に考察している。 d: 東欧社会主義諸国の改革、ソ連邦やユーゴスラヴィア連邦の解体過程、EU や NAFT など先進経済地域の統合化の動きに関する基本的な知識を身につけている。	発問評価 授業態度 小テスト 定期考査
	途上国の民主化と独裁政権の動揺	途上国の民主化の進展と、アジア社会主義国家の変容を理解する。	◎			◎	a: ラテンアメリカやアジアの途上国における強権支配の後退と民主化の進展について、関心をもって学習しようとしている。 d: ラテンアメリカやアジアの途上国で進展した民主化の過程と、アジア社会主義諸国の経済開放政策やその変容に関する基本的な知識を身につけている。	発問評価 授業態度 小テスト 定期考査

	地域紛争の激化と深刻化する貧困	世界で多発する地域紛争と同時多発テロ後の戦争、紛争解決や軍縮の試みを理解する。	◎		○	◎	a: 新たな地域紛争の頻発、経済格差や深刻化する貧困問題など、現代の諸地域世界の情勢について関心をもって学習しようとしている。 c: 教科書に掲載されている教科書に掲載されている PKO 派遣数の資料や写真などを適切に活用している。インター年徒や新聞などから国際社会の課題に関する情報を収集し、活用している。 d: 東欧やロシア、中東からアジアにかけて多発する地域紛争、アフリカの民主化と貧困問題、対テロ戦争と紛争解決や軍縮の試みに関する基本的な知識を身につけている。	発問評価 授業態度 定期考査 小テスト
	現代文明の諸相	情報技術・科学技術の発達と現代文明が抱える危機、現代思想や文化の特徴について理解する。	◎	○		◎	a: 情報技術革命や生命科学の進展がもたらした生活の変化と、それに伴う環境問題などについて、関心をもって学習しようとしている。 b: 地球環境の破壊といった現代文明の危機を多角的に考察し、「多文化主義」や「共生」といった思想を探究している。 d: 科学の実用化にともなう生活や環境の変化、現代文化の思想的な枠組み、現代文明による地球的規模での危機や新しい模索に関する基本的な知識を身につけている。	発問評価 授業態度 定期考査 小テスト

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。